

令和 4 年度・工学研究科土木工学専攻博士前期課程を受験するみなさんへ  
**「名古屋大学国際環境人材育成プログラム(NUGELP)」の案内**

名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻では、環境学研究科都市環境学専攻持続発展学系と協力して、「名古屋大学国際環境人材育成プログラム(NUGELP)」を実施している。本プログラムは、国際的な視野を持った技術者、研究者、次世代の環境リーダーの育成を目的とする、全て英語で行う教育プログラムである。

下記の説明および資料を参照の上、参加を希望する場合には、必要な手続きをとること。

**対象学生**

博士前期課程に入学する留学生および日本人学生

**プログラムの概要**

※詳細については、ホームページ(<http://www.civil.nagoya-u.ac.jp/ceeipo/index.html>)を参照のこと。

**【名古屋大学国際環境人材育成プログラム(NUGELP)】**

地球環境問題や持続可能な開発問題を対象に中心、事象の理解、対策技術の理解・修得、制度設計・政策運営の能力獲得のための教育を実施する。

- ・ 地域の企業、NGO、海外の大学、国際機関などの協力を得て、国際インターンシップ(グローバル研究インターンシップ)を実施する。
- ・ プログラム指定科目は全て英語で行う。また、留学生と日本人が相互に啓発しあいながら共に学ぶ。これにより、国際的コミュニケーション能力を向上させることができる。
- ・ プログラム所定の学業を修めた学生には、修士学位に加えて、プログラム修了認定証を授与する。

**参加希望から選考、参加までの流れ**

- ① 「土木工学専攻 博士前期課程 入学試験専門部門選択調査用紙」の参加希望欄に「希望する」と回答すること。
- ② 入試合否発表後、参加希望者のうち合格者を対象に英語面接を実施する。入試成績、英語能力、意欲などを総合的に評価して、プログラム学生を選考する。
- ③ プログラム事務局から選考結果を通知する。
- ④ 入学時に、ガイダンスを実施する。

※選考案内を含むプログラムからの連絡は、基本的にメールで行う。参加希望の受験者は必ず、「調査用紙」に確実に受信できるメールアドレスを記載すること。特に入試合否発表前後は、定期的にメールを確認すること。

**注意事項**

- ・ プログラム学生は、プログラム指定科目(指導教員によるセミナー科目 8 単位およびグローバル研究インターンシップ 2 単位を含む必須科目計 18 単位、選択科目計 4 単位)を履修することが求められる(学位取得に必要な単位としてカウント可能)。
- ・ プログラム学生は通常の学生と同様に、土木工学専攻の教員の中から、自分の専門や興味にあわせて指導教員を自由に希望することができ、それぞれの研究室に所属して専門分野について学びながら、プログラム履修を進める。プログラム参加については、事前に希望指導教員に相談すること。
- ・ プログラムが提供する科目は一部を除いて開放されている。したがって、プログラム参加学生以外の一般学生も受講可能である。

問い合わせ先: 名古屋大学環境土木工学国際プログラム事務  
〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学環境総合館 223 号室  
E-mail: [ceeipo@urban.env.nagoya-u.ac.jp](mailto:ceeipo@urban.env.nagoya-u.ac.jp)

令和4年度・工学研究科土木工学専攻博士後期課程を受験するみなさんへ  
**「アジアと日本の共発展を目指すグローバル土木リーダープログラム(Forefront Program)」  
の案内**

名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻では、環境学研究科都市環境学専攻持続発展学系および岐阜大学大学院工学研究科工学専攻と協力して、「アジアと日本の共発展を目指すグローバル土木リーダープログラム(Forefront Program)」を実施している。本プログラムは、国際的な視野を持った技術者、研究者、次世代の環境リーダーの育成を目的とする、全て英語で行う教育プログラムである。

下記の説明および資料を参照の上、参加を希望する場合には、必要な手続きをとること。

**対象学生**

博士後期課程に入学する留学生および日本人学生

**プログラムの概要**

※詳細については、ホームページ(<http://www.civil.nagoya-u.ac.jp/ceeipo/index.html>)を参照のこと。

**【アジアと日本の共発展を目指すグローバル土木リーダープログラム(Forefront Program)】**

急速に変化する地球規模の環境・防災の課題に対して、アジア諸国の地域特性にきめ細やかに適応した質の高いインフラを構築することで日本とアジア諸国の「持続的共発展」をけん引するグローバル土木工学リーダーを育成する。

- ・ 地域の企業、NGO、海外の大学、国際機関などの協力を得て、国際インターンシップ(グローバル研究インターンシップ)を実施する。
- ・ プログラム指定科目は全て英語で行う。また、科目の一部は岐阜大学と共同で実施しており、留学生と日本人、名古屋大学と岐阜大学の履修生が相互に啓発しあいながら共に学ぶ。これにより、国際的コミュニケーション能力を向上させることができる。
- ・ プログラム所定の学業を修めた学生には、博士学位に加えて、プログラム修了認定証を授与する。

**参加希望から選考、参加までの流れ**

- ① 入試合否発表後、参加希望者のうち合格者を対象に英語面接を実施する。入試成績、英語能力、意欲などを総合的に評価して、プログラム学生を選考する。
  - ② プログラム事務局から選考結果を通知する。
  - ③ 入学時に、ガイダンスを実施する。
- ※選考案内を含むプログラムからの連絡は、基本的にメールで行う。

**注意事項**

- ・ プログラム学生は、プログラム指定科目(指導教員によるセミナー科目 8 単位およびグローバル研究インターンシップ 2 単位を含む必須科目計 16 単位)を履修することが求められる(学位取得に必要な単位としてカウント可能)。
- ・ プログラム学生は通常の学生と同様に、土木工学専攻の教員の中から、自分の専門や興味にあわせて指導教員を自由に希望することができ、それぞれの研究室に所属して専門分野について学びながら、プログラム履修を進める。プログラム参加については、事前に希望指導教員に相談すること。
- ・ プログラムが提供する科目は一部を除いて開放されている。したがって、プログラム参加学生以外の一般学生も受講可能である。

問い合わせ先: 名古屋大学環境土木工学国際プログラム事務  
〒464-8601 名古屋市中千種区不老町 名古屋大学環境総合館 223 号室  
E-mail: [ceeipo@urban.env.nagoya-u.ac.jp](mailto:ceeipo@urban.env.nagoya-u.ac.jp)